

令和7年度 家庭科 授業改善推進プラン

大田区立道塚小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・導入時に自分の家庭生活を振り返る機会を設けることで、自己の課題が明確になり主体的に学ぶ姿が見られた。また課題を意識させて振り返りをし、個々の振り返りを全体で共有することで、学習課題に対する解決方法や新たな気づきをもたせることができた。
- ・ICT機器を活用し、動画を繰り返し視聴させたり、スライドを使ったりしたことで、主体的・対話的な学びとなる場面を多く設定することができた。

(2) 課題

- ・児童が学習した内容を生活につなげ、家庭生活に生かそうとする意識があまりない。
- ・題材のまとめや家庭での実践課題の内容を共有する機会がもてなかった。
- ・裁縫の知識・技能の定着に課題が残る。

2 授業改善のポイント（観点別）

○高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・題材の展開とその題材で身に付ける知識・技能を整理し、題材を通して既習した知識・技能を活用して考えたり活動したりできるように展開を工夫する。また、題材ごとのつながりを考え、他の題材での知識・技能を活用できるように内容を設定する。 ・クロームブックを活用し、児童が学習したことを繰り返し確認できるように動画や資料の用意をする。	・題材導入にあたり、内容に関する事前調査を行う。提示する資料や教材を精選し、児童が自分の生活を振り返り、学習課題がもてるようにする。 ・題材の展開や終末の見通しを明確にし、単元計画を児童に示して指導を行う。特に、実践場面や実践を評価・改善する場面の設定を吟味する。	・毎時間、ノートやタブレットを用いて、学習の振り返りをする。振り返りを全体に共有していくことで、学んだことを家庭生活に生かす具体的な方法や場면을想像できるようにする。 ・家庭によって実践できる場面が異なるため、家庭生活だけではなく、学校生活で実践できそうな場면을共有する。